

川崎のヤングケアラー支援制度を考える

～ 気づこう、つながろう、支えよう ～

定時制高校教員 松本智春

「気づこう」
「見つけよう」
のヒント

定時制には、

「ヤングケアラー」

多いですよね？

ヤングケアラー

学校現場の実態を表す？

3つの数字

0回

私は「ヤングケアラー」という
言葉を職場で聞いたことはない

1人

「ヤングケアラー」という
言葉の意味を知っていた教員

100%

「ヤングケアラー」の生徒に
「出会ったことがある」 教員

多くの教員は
「知らない」けれども
「出会っている」

「出会って」 いても 「知らない」 ために…

●子どもからの「苦しい」「つらい」
の訴えがないと、

家のお手伝いをして

「頑張っているね！」

「えらいね！」

「出会って」 いても 「知らない」 ために…

- あなただけではなない。
もっと大変な人もいるんだぞ！
- 宿題忘れが多いのは、気が
緩んでいる証拠！

「出会っている」のだから
学校で（教員で）
しっかり把握せよ！

でよいのか？

学校は「子どもが集まる場」

だから、いろいろな課題の発見
や解決が学校に期待されやすい。

「ヤングケアラー」も学校で？

学校に協力者がほしい

「校内カフェ」に

その可能性

学校外の大人（支援者）がいて、
相談しやすい環境がある

かわさき教育プラン

川崎市立の定時制（全4校）
「校内カフェ設置」

ふり返り

- 「ヤングケアラー」という言葉は、学校の教員にはほとんど知られていない。
- 学校では「出会っている」が、正しい対応ができているとはいえない。
- 「学校で把握せよ」には課題。学校外の支援者（校内カフェ）の役割に期待

「気づこう」「見つけよう」
のヒント

「どこで?」「誰が?」
「どうやって?」 課題

川崎のヤングケアラー支援制度を考える

～ 気づこう、つながろう、支えよう ～

定時制高校教員 松本智春